

新春交流会が開かれました

1月18日(土)、毎年恒例の新春交流会が開かれました。

11時30分、田無のレストラン「花車」に集ったのは新入会員4名を含めて15名の西東京紫紺会の面々。

初めに久保田支部長より、「去年は計画した活動がほぼ予定通り行われた。とりわけ11月の西東京市民まつりへの出店においては6名の新入会員の入会につながった。また、迎える本年は、地域支部設立20周年に当たり、11月24日には「こもればホール」において記念式典が開催され、併せて記念誌の発刊も予定されている。皆様のご協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。



続いて、安松先輩の発声により乾杯となり、懇談開始です。次々に出てくるお料理に舌鼓を打ち、お酒も進んだ頃合いで、新入会員の自己紹介となりました。

齋藤 豊さんは、長年暮らしたアメリカのオレゴン州から昨年帰国して西東京市に居を定めたとのお話がありました。

坂元猛志さんからは、ご自分のお名前について、「さかもと」の「もと」は、「本」ではなく「元」なのは九州にルーツがあるとのお話でした。

馬場 健さんからは、メダカを育てており、会員の皆さんにもお分けしますとのことです。

本間久雄さんからは、お隣の三鷹市で生まれ育ったが、今は芝久保に住んでいますとのお話でした。

新入会員の皆様のご活躍を期待したいと思います。

午後1時を回りラストオーダーも過ぎたところで、濱田相談役のリードにより校歌斉唱、そして記念撮影と進み、楽しかった新春交流会もお開きとなりました。



